

## 研 修 コ ー ス の 概 要

施設名 総合病院山口赤十字病院

1. 研修コース名 山口赤十字病院産婦人科後期研修コース

診療科名 産婦人科

2. 研修コースの種別

「日本赤十字社認定臨床医コース」・「日本赤十字社認定専門医コース」

3. 研修期間

4 年間

4. 研修コースについて

(1) 目的

産婦人科学全般を広く研修し、学会所定の分娩例数、手術例数を経験して、日本産科婦人科学会専門医の受験資格を取得する。

(2) 到達目標（目標、長期目標、一般目標、取得手技、コンセプト等）

- ・ 手術件数 1500 例、術者として 300 例を経験する。
- ・ 少なくとも 400 例の正常分娩を経験するとともに、吸引分娩や帝王切開術を修得する。
- ・ 筆頭者として年数回の発表や年 1 回以上の学術刊行物への論文発表を行う。
- ・ 日本救急医学会専門医に合格できる程度の疾患や技術を経験、習得する。
- ・ 月に 3～4 回、救急部診療に属する期間を通じ、基本的な救急疾患の診断・治療を習得する。

(3) 赤十字としての特色

- ・ 救急医療  
産科救急を含めた全科の救急疾患に携われる。
- ・ 災害医療  
当院、支部、県や市が主催する災害救護訓練や演習に参加する。

- ・国際救援

本社等の主催する国際救護協力要員研修会等には積極的に参加させる。

(4) 協力医療施設名

・

5. 研修コース責任者

- ・職 第一産婦人科部長
- ・氏名 辰村 正人
- ・連絡先 電話番号 083 ( 923 ) 0111 内線 ( 2110 )  
メールアドレス

6. 診療科の指導体制

- (1) 医師数 合計 7 名  
常勤 7 名、非常勤 0 名  
うち、研修の指導にあたる医師数 5 名

(2) 指導責任者

主として研修指導にあたる医師の職・氏名、診療科経験年数

- ・職 第一産婦人科部長
- ・氏名 辰村 正人
- ・診療科経験年数 35 年
- ・連絡先 電話番号 083 ( 923 ) 0111 内線 ( 2110 )  
メールアドレス

7. 募集

- (1) 募集人数 2 名  
(2) 募集方法 (複数可)

自院の初期研修医から  他赤十字病院の初期研修医から・自院及び他赤十字病院の日本赤十字社認定臨床医コース研修医から  インターネット・医学系雑誌  院内報  大学病院へ直接  他医療機関に直接  その他 (具体的に )

※本研修コースが日本赤十字社認定専門医コースの場合、「自院及び他赤十字病院の日本赤十字社認定臨床医コース研修医から」に○を付すること。

8. 取得可能資格等

学会名	取得可能資格	学会の研修施設等指定・認定状況
日本産科婦人科学会	専門医	専門医制度卒後臨床研修指導施設
日本周産期・新生児医学会	周産期・母体胎児専門医	暫定研修施設

## 9. 研修期間中に経験する症例等について

### (1) 症例数

主要疾患名	症例数	経験目標症例数	実施施設名※
正常分娩	1400	400	
異常妊娠・分娩	600	200	
良性子宮疾患	200	70	
悪性子宮疾患	60	20	
良性付属器疾患	120	40	
悪性付属器疾患	25	8	

※他の医療機関で研修する症例のみ、当該医療機関名を記載すること。

### (2) 手術又は手技等件数

手術又は手技等	手術又は手技等件数	経験目標件数	実施施設名※
帝王切開術	480	150	
腹式子宮全摘術	200	70	
腹式付属器摘出術	120	40	
悪性腫瘍根治術	50	15	
膣式子宮全摘術	50	15	
子宮内部除去術	100	40	

※他の医療機関で研修する手術又は手技等のみ、当該医療機関名を記載すること。

### (3) 赤十字医療施設としてのプログラム

#### ア 救急医療について

主要疾患名又は手技等	症例数又は手技等件数	経験目標症例数又は件数	実施施設名※
母体搬送	200	50	
子宮外妊娠	25	10	
卵巣腫瘍茎捻転	10	5	
急性腹症	10	5	

※他の医療機関で研修を受ける救急医療のみ、当該医療機関名を記載すること。

#### イ 災害医療について

災害救護訓練へ積極的に参加する

#### ウ 国際救援について

国際救護協力要員養成研修会などに積極的に参加する

#### エ 資格認定試験等への対応について

日本産科婦人科学会認定の研修指導施設及び日本周産期・新生児医学会の暫定研修施

設であり、所定の期間の後期研修後は産科婦人科専門医及び周産期母体・胎児専門医の受験資格が得られる。

オ その他

地域での赤十字活動へ参加する